

消化器のステント治療が進歩・普及している。

上部消化管・下部消化管，胆管・膵管というように消化器の広い領域で，悪性疾患・良性疾患に対してステント留置が行われている。ステントは狭窄・閉塞の解除だけではなく，瘻孔閉鎖や内腔減圧の目的にも用いられる。

ステント治療は手術などの他の治療法に比べて，低侵襲性，簡便性や QOL の観点から優れている。たとえば，切除不能の膵胆道癌による悪性胆道狭窄に対して，従来は胆道バイパス術として胆管空腸吻合術が行われていたが，最近ではほとんどの症例で胆管ステント留置に置き換えられている。

ステント治療の発展は，医学・医療の進歩だけではなく，ステントの改良・開発が大きく貢献している。この分野での医工連携は急速に進んでいる。プラスチックステントやメタリックステントに加えて，生体吸収性である生分解性ステント (biodegradable stent) のような新しい素材によるステントも開発されている。また EUS を用いた新しいステント治療も普及しつつある。

本特集の各論文から，進歩してきた消化器ステント治療についてご理解いただけると思う。

(杉山 政則)

臨牀 消化器内科® Vol. 34 No. 10

©2019 年 8 月 20 日発行

定価(本体 3,000 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし，年間購読料は年度により異なりますので，書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き，禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791